



①予約制ではなく、洋食・和食・麺類の3種(昼食時)の中からその場で食べたいメニューをセレクトできるレストラン方式。②居室の一例(全て個室)。室内は明るく開放的。標準タイプで広さは約50㎡。③温水プールを備えた高齢者マンションは稀少。奥にはジャグジーも。

スよく摂ることができるので、栄養面での心配も解消できる。この日は、魚介のシチュー、チキンコンソメ、薩摩芋と南瓜のソテー、グリーンサラダ、パン、ゼリーという洋風定食を試食したが、器や盛り付けも美しく、美味しかった。もちろん特別メニューのオーダーにも対応してくれるという。「気心の知れたスタッフに囲まれ、充実したお食事やアメ

ニティが楽しめますし、健康面への不安に対しても、館内に開院している内科クリニックをはじめとして、生涯にわたって安心の介護・医療支援を受けることができます。そうした意味では誰もが望んでいた新しい高齢者マンションといえるのではないのでしょうか(竹田取締役) 介護が必要となった際のサポート体制も万全で、館内に一時静養室を設け、24時間常駐の看護師が対応。さらに介護が重度になった場合には、同社が運営する介護ケア専門施設「サンシティ調布」に無償で住み替えることができます。料金システムは明瞭だ。入居時に「入居一時金」(居室・共用スペース利用料、単身の場合2920万円)と「健康管理費」(健康診断・人間ドック、一時的な介護看護料、常時介護が必要になった際の提携施設でのサービス料525万円)のみ。その後は毎月「管理費」「食事代」等に約20万円。これだけ豪華な施設であっても、たとえば自宅を売却した費用で一時金を支払い、毎月の管理費を年金で賄っていけば、負担できない金額ではない。入

昨年10月にオープンしてわずか3ヶ月で成約率が65%(2012年1月末現在)を超えたという高齢者マンション「サンシティ吉祥寺」。その人気の秘密はどこに? 見学会に足を運んでみたらシニアライフの理想の形が見えてきた。



自宅の応接やサブリビングとして使えるエントランスロビー



JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺」駅から、入居者用に1日8便運行されているシャトルバス(無料)に乗って、株式会社ハーフ・センチュリー・モアが運営する高齢者マンション「サンシティ吉祥寺」に到着。思わず目を見張るのは、大きな窓から自然光がたっぷりに差し込む豪華なエントランスロビー。海外のリゾートホテルのようなゆたがり寛げる空間が広がる。「サンシティ吉祥寺」の責任者であり取締役の竹田広さんはこう説明する。「ここは「住宅型有料老人ホーム」というカテゴリーに分類さ



暮らしを笑顔で見守り、温かく支えてくれるスタッフ

リゾートホテルの快適さで

生涯安心に暮らす

居一時金は15年の償却だが、長生きしても追加金はないので、早く入居すればするほどお得という感もある。「もう半世紀すこやかに」というスローガンを冠する株式会社ハーフ・センチュリー・モアは現在、関東・関西圏に13の高齢者マンションを展開中。「社会や家族のために働いて、高齢を迎えたその先にこそ、今まで以上に輝いて、安心して暮らせる人生を——私たちは心からそれを願っています」老人ホームの在り方は変化している。



見学会で説明する竹田広取締役

れますが、たとえるなら、会員制の上質なリゾートホテルに住むというイメージ。居室の他にリゾートホテルの共用部が付いているとお考えいただければ分かり易いですね」共用部には、コンサート等を行うサンシティホール、ジャグジー付きの温水プール、ミストサウナ付きの大浴場、本格的なシアタールーム、ビリヤード場やカラオケルーム、陶芸や絵画を楽しめるアトリエなど、自由に利用できる充実した設備が備わっている。毎日の食事は、美しい庭園に面したダイニングルームで、多彩な日替わりメニューの中から予約不要でチョイスできる仕組み。四季折々の新鮮な食材を生かした料理は入居者にも好評だ。1日あたり1800キロカロリーを目安に、30品目以上の食材をバラ

サンシティ吉祥寺

東京都三鷹市下連雀 5-3-5
3/19～3/21に見学会を開催(予定)。
*見学相談の御予約・資料請求は ☎0120-188-150



提供:株式会社ハーフ・センチュリー・モア
http://www.hcm-suncity.jp